

# 岩手県（岩手県農業研究センター）

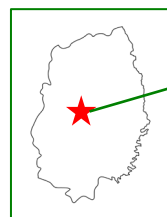
R5 補正  
R6 当初

04

## 背景・課題

トマトの重要害虫であるアザミウマ類やコナジラミ類は薬剤抵抗性が発達しやすいため、薬剤の選択に苦慮しており、化学農薬に替わる防除技術の導入が必要である。

アザミウマ類やコナジラミ類を捕食対象とするタバコカスミカメが製剤化されたため、その適用性を検討するとともに、防虫ネットを組み合わせ、外部からの害虫の侵入を物理的に遮断する技術についても検証する。



盛岡市

## 構 成 員

岩手県農業研究センター

## 品 目

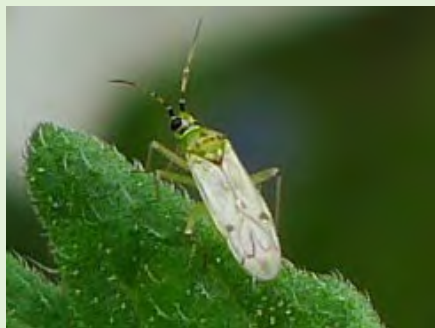
トマト（施設栽培）

## 成果目標

○殺虫剤の散布回数を13回から7回に減らす。

## 主な取組内容

○環境負荷軽減の取り組み（殺虫剤使用量の低減）



タバコカスミカメ



防虫ネット設置区と未設置区との比較

○防虫ネットとタバコカスミカメを併用し、害虫が増殖する前にタバコカスミカメを定着・増殖することで、防虫ネットなし、化学的防除主体の慣行区と比較して、殺虫剤の使用回数を減らしても、アザミウマ類による果実の白ぶくれ症やコナジラミ類によるすす症を軽減できる。

○タバコカスミカメは動植物食性であり、試験期間中にタバコカスミカメの増減に応じて、トマト茎葉や果実に軽度～重度の

表.令和5年度実証の結果

被害が生じたため、タバコカスミカメの導入前に、本技術のメリット・デメリットについては十分な理解醸成が必要である。

|     | 殺虫剤<br>総使用回数 | 防虫<br>ネット | 天敵<br>昆虫 | 白ぶくれ症<br>被害果率 | すす症<br>被害 |
|-----|--------------|-----------|----------|---------------|-----------|
| 慣行区 | 13回          | なし        | なし       | 8.0%          | なし        |
| 実証区 | 5回           | あり        | あり       | 1.2%          | なし        |

## 普及に向けた取組

○岩手県農業研究センターが実証結果を取りまとめマニュアルを作成する。

○タバコカスミカメについては、事業終了後も夏秋期以外の作型で実証を継続し、マニュアルの充実を図る。

問い合わせ先

岩手県農林水産部農業普及技術課  
TEL:019-629-5656